

## BeSecure 製品の停電時の対応方法について

### 1. 急な停電による機器への影響について

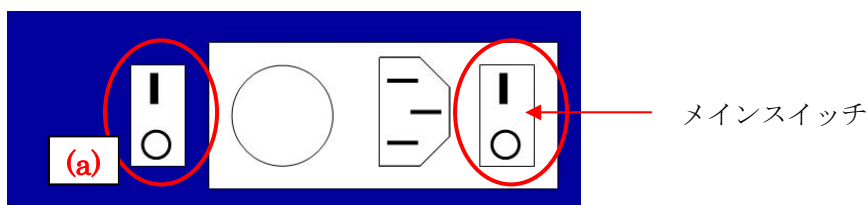
通常使用時に急な停電による機器への電源断が発生した場合、機器に影響を及ぼすことがあります。

BeSecure はハードディスクドライブを搭載していませんが、コンパクトフラッシュにファームウェアを格納しています。

ファームウェアが破損した場合、機器が正常に起動しないことがあります。

NDP-1005NX では停電復帰後、電源スイッチを操作する必要があります。

機器背面の(a)のスイッチを | 方向に押してください。



停電から復帰後、機器が起動しない場合は購入元もしくはサポートセンターまでご連絡下さい。

### 2. 計画停電への対応方法について

予め、予定されている停電への対応はご利用の機器によって異なります。

#### 1) シャットダウン処理

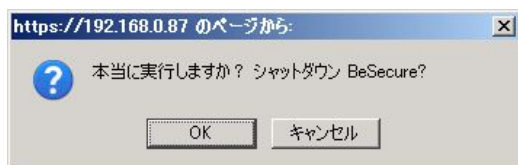
##### ① WebUI からのシャットダウン

Web ブラウザを利用し、BeSecure の管理画面にアクセスします。

システム>シャット・ダウン メニューからシャット・ダウンを選択し、Go をクリックします。



本当に実行しますか？シャットダウン BeSecure? のポップアップが表示されます。OK をクリックします。



② コンソールからのシャットダウン

SSH またはシリアルコンソールで接続します。

ID に **admin**、パスワードには WerUI 側で設定している **admin** のパスワードを入力します。

ログイン後、以下のコマンドを実行します。

**shutdown now**

2) シャットダウン状態の確認及び電源スイッチ操作

機器のシャットダウン状態を確認し、電源スイッチを操作して電源を切ります。

① NDP-1005D/NDP-1005D2

シャットダウンが終了すると自動で電源が **OFF** になります。

**Bridge** 構成ではシャットダウン後、通信は遮断されずに通過します。

② NDP-1005NX

シャットダウン処理が終了すると自動で電源が **OFF** になります。

シャットダウン後、通信は通過しません。**INGRESS** ポートと **ERESS** ポートに接続しているケーブルを外し、ケーブルの付け替え等を実施し、通信を確保して下さい。

③ NDP-1020NX

シャットダウン処理が終了後、**POWER** ランプが緑から青に変わります。

**POWER** ランプの色が変わってから 10 秒以上経過後、機器背面の電源スイッチを○の方向に押して電源を切して下さい。

**Bridge** 構成ではシャットダウン後、通信は遮断されずに通過します。

④ NDP-1005G/NDP-1020N

シャットダウン処理が終了後、機器正面の **LCD** ディスプレイの表示がなくなります。10 秒以上経過後、機器背面の電源スイッチを○の方向に押して電源を切して下さい。

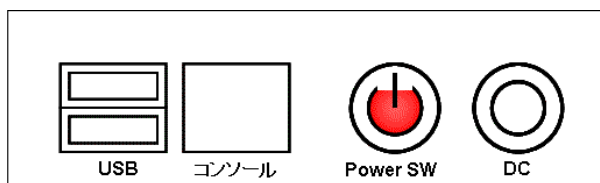
**Bridge** 構成ではシャットダウン後、通信は遮断されずに通過します。

### 3) 停電復帰後の操作

停電から復帰後は起動の操作が必要になる場合があります。ご使用の機器をご確認のうえ、下記の操作を行って下さい。

#### ① NDP-1005D/NDP-1005D2

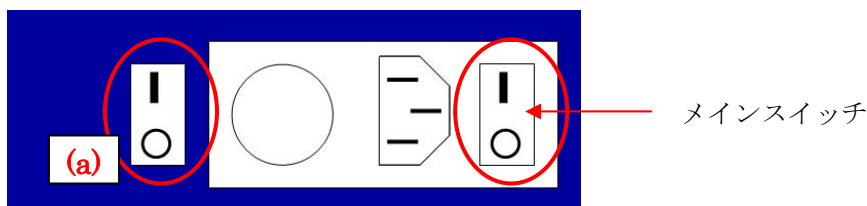
停電復帰後、自動で電源が ON になります。自動で電源が ON にならない場合、本体背面の電源ボタンを押して下さい。



Power SW ボタンが青色になると電源 ON の状態です。

#### ② NDP-1005NX

機器本体背面の(a)のスイッチを | 方向に押して下さい。  
電源 ON で本体正面の電源ランプが点灯します。



機器起動後、接続を変更したケーブルを元に戻して下さい。

#### ③ NDP-1020NX/NDP-1005G/NDP-1020N

本体背面の電源スイッチを | 方向に押して下さい。

### 3. その他

停電復帰後は必ず通信の確認を実施してください。

万が一、機器の電源が ON にならない、通信が出来ない等の問題が生じた場合には、購入元もしくはサポートセンターまでご連絡下さい。

以上